

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 20 日

事業所名 : こばんはうすくら 彦根教室

保護者等数(児童数) 2 回収数 1 割合 50 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	0	0	0	1	・回答が1件のため、ご意見が得られませんでした。	工夫をして行っております
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	0	0	0	1		現在、作業療法士を配置しました。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	0	0	0	1		出来るようにしております
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	0	0	0	1		いつも心がけ玩具一つ一つ消毒も毎日しています。
適切な支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	0	0	0	1		相談員さんからの計画と施設内での様子を見て職員会議実施しています。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	0	0	0	1		相談員さんからの計画と施設内での様子を見て職員会議実施しています。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	0	0	0	1		個々の計画を職員で確認理解し日々支援に取り組んでいます。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	1	0	0	0	・工夫されていると思う	毎月ワクワクしながらプログラムを職員も考え季節の行事をとりいれています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	0	1		おでかけや公園あそび時の目的の一つとしているが保護者に伝わるようにプログラムを改善していきます。
保護者への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	1	0	0	0	・説明されている	継続して行っていきたいと思います
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	0	0	0	1		契約時に支援計画があり今後説明すると言うことを伝えていきます。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)が行われているか	0	0	0	1		具体的にどうしたか。その結果も伝え成功例失敗例を保護者と共有しています。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	1	0	0	0	・共通理解ができている	継続して行っていきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	0	0	0	1		お声掛けをしております
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	0	0	1		今後、保護者間親睦、支援の連携を目的に実地計画していきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	1	0	0	0	・適切に対応されている。	今後も継続していきます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1	0	0	0	・利用後の活動内容等を教えて頂けるのは嬉しいです。	継続してより多くの情報提供をしていけるようになっていきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1	0	0	0	・連絡帳もしっかり記入してくれていて、LIMEでも活動の様子がみれるので。	昨年度はよりおおくの情報提供のためInstagramもはじめました。
19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	1	0	0	0		慎重に取り扱っておりますがそのようなことがあった際は至急連絡頂き対応します。	
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	0	0	0	1		実地しているが保護者にもっと伝えられるように連絡していきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	0	0	0	1		実地しているが保護者にもっと伝えられるように連絡していきます。

満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	1	0	0	0		もっともっとのしみにして頂ける様なプログラム内容にしています。
	23	事業所の支援に満足しているか	1	0	0	0	これから色々な事を経験して成長して欲しいと思います。	ありがとうございます。これからももっと保護者様、児童に寄り添い支援に努めていきます
			9	0	0	14		39%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 20 日

事業所名 : こばんはうすさくら 彦根教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		職員の配置や配慮	資格者や職員体制を念頭においている
	2 職員の配置数は適切であるか	○		多めの職員配置にしている	職員の質を向上し無理のない人数で療育する
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		視覚支援を主に提示している	本人が分かりやすいように顔写真を提示し自分が何をするか次々にをずるかわかる様に工夫しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		チェックリストを制作し掃除している	毎日する。週でする等掃除の分担を職員でしています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		職員間連携を図り支援に必要な事を話し合いをしている	職員単体で動くことが多いが、統一できる様定期的な職員会議や朝礼で時間を作っています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者の意見を聞けるよう送迎時職員からの声掛けを徹底している	職員同士の確認上司への報告をする
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		本社ホームページに掲載公表している	幹部の職員すべてホームページ確認する
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		相談事業所と密に連携をとり評価を取る	いろんな業種と連携を図り評価をうける
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		職員の向上と質を上げるようにしている	職員会議を行い職員間研修、実際の演習を行っている。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		話をじっくり聞くことをしている	隠れたところにもニーズがあることを念頭に児童と関わり支援計画へ活かしている。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		本社からのツールを使用変化させている	一定にとらわれなくいろんな視点で行う
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		保護者の意向を踏まえながら選択できる様にする	本人や相談員、保護者からの意見を参考にし、施設内の様子を観察関わり聞き取りし取り組んでいます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		職員に周知し児童発達支援管理責任者が確認している	職員全体に周知している
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		少人数と個別の支援をしている	子供に合わせて組み分けをする
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		曜日を固定しないようにしている	みんなが参加できる様にいくつかのレベル分けをしたり活動への声掛けなどをしています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		全スタッフの意見を取り入れながら作成している	会議に参加できないスタッフに事前に会議意見書を渡している
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		職員一人一人の意見を取り入れながら職員間で共有している	朝礼、昼礼をし、その日の担当や役割を決めている
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終わりの反省会をしている	参加できない職員にはメモで渡す
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日連絡ノートの記載と記録をつける	1日1日担当を決め担当した者が責任をもって記録し次の日、報告できるようにしています。
関係機関や保護	20 定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		職員間で会話を重視しているため常に判断できる体制にしている	職員の気付いた点をみんなで話し合うようにしている
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		常に支援に当たってるもの。児童発達支援管理責任者が参加している	職員に負担のかからないようにしている
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		他事業所との連携をできるだけとるようにしている	他事業所に職員と見学しています
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		今後検討していく
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		今後検討していく
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		常に心がけています。	日々の様子や学校での様子を交換している

護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		常に心がけています。	日々の様子や学校での様子を交換している
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		助言や研修会に参加している	密に連絡を取り研修を受けていく
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		プログラムに取り入れている	様々な人との関わり方やルール等を守る学びをふまえて外遊びや公共施設へおでかけするイベントを考えています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		部会へ参加する様している。	特に人数指定されていない地域会議や講演はいける職員みんなで参加していくようにしている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時、お迎え時にで来る限り話し共通理解をしている	伝達を密に解決すべき点を速やかに解決できるようにしていく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	○		相談事業所と密になり家族支援する	具体的にどうしたか。その結果も伝え成功例失敗例を保護者と共有しています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時重要事項説明書で説明をしている	説明だけではなく理解されているかを確認をとる
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		児童発達支援計画書を提示し説明同意を得ている	説明に時間をとり保護者の環境も聞いていく
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者から相談を受けたときには相談に応じている	定期的に聞いているが個別支援計画書作成の時期だけになっている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		定期的に計画を予定しています
非常時等の対応	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		保護者の方からの相談を受入れた時点で速やかに職員に周知していく	周知のスピードを速く解決につなげる
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		インスタグラムをはじめたり、月2~3回程度LINEで保護者に活動の様子をお知らせしている。	会報は発行できていないため今後検討していきたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		常に施錠し管理者が鍵を管理している	管理者不在の時職員が開けられない
	39	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		わかりやすく説明や時には提示物で説明している	不定期でもお子様の様子や保護者様のお声を聞けるようなツール構築していく
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後検討中
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		職員間連携をしている。	プログラムとして避難訓練をしていないのでした際には保護者にも伝えられるようにしていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難場所に指定されているためそれを踏まえ訓練にしている。	マニュアルの設置をしていく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		事前に保護者様の情報を職員に周知している	細かい聞き取り、対応を確認しいつながりあっても職員対応できるようにしている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		現在そこまでのアレルギーある児童がいないが今後あった時は保護者から聞き取りし対応していきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		報告書を職員の見えるところに提示している	職員会議、朝礼で対策を考えすぐ実行していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		児童相談所や市役所の講習参加している	児童相談所や市役所と連携しています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		明確に保護者様に説明できる状態にする	その場面になり書類等の配置や職員に周知していく